

解 答

〔一〕

問一 A オ B ア C ウ

問二 I 自然と人間の暮らす社会 II 人間と動物の関係が矛盾しながら重なり合っている〔から。〕

問三 生きるために他の動物や植物を食べること。

問四 1 自然に反する行ない（自然に反した行ない） 2 自己目的的行為

問五 1 自然界の生き物は必要量しか蓄積しないのに対して、人間は必要量がわからないので不安がある限り貯えを増やしつづける点。

2 自然界の生き物は貯えを残す行為も自然というつながり合う世界から離れないが、人間の場合は自己目的的行為であり、つながりがない点。

問六 ア × イ × ウ ○ エ × オ ○

〔二〕

問一 (a) 眼前 (b) 臨時 (c) 心臓 (d) 果(て) (e) 届(か)

問二 オ

問三 ほかの陸上部員たちの自分に対する非難や批判を受け止めようと覚悟する気持ち。

問四 I 走るのが怖くなったから。 II イ

問五 初め 久遠が口元 終わり をつぶった

問六 愛しくて、自分の手で守ってやりたいと強く思う気持ち。

問七 身体を取り巻く全てのものが遊離し周りに吸いこまれていく中で、自分という小さな核だけが残るように感じられること。

問八 私が今目指しているゴールは、本校に合格することです。そしてゴールした後に広がる風景とは、本校で過ごす学校生活です。友達と切磋琢磨して、悔いのない六年間を過ごしたいと思っています。